

漢字かな交じり文を書く(20)

締切り 八月二十五日(必着)

夏の公園

若谷和子

かっぽのブランコを

風が押している

赤いバケツとシャベルがあつて

こどもの姿はどこにもない

暑さにはじめてしよったの

いいえ今はいるの時間

しばらくしずかな

日盛りの公園

奥村憲照先生書

◎書道のジャンルには、大別して「漢字」「かな」「漢字かな交じり文」の三つがあります。

◎「漢字かな交じり文」は、実用書としてはあたり前のことですが、芸術書としては比較的新しい分野で、近代詩文書とか調和体と呼ばれています。

団体によっては、新和様とか新書芸、日本詩文書という呼称もあります。

◎原稿用紙にきれいに書くことは実用書の基本ですが、実際には中々むつかしいものです。しかし、上掲の作品のように、つけペンの美を追求すれば、観る人の心に響く立派な芸術作品にもなることが、ご理解いただけることでしょう。

◎誰にでも読めて、言葉の感動をストレートに表現できる「漢字かな交じり文」の世界をお楽しみ下さい。

※落款(氏名)も作品の一部として、作品の最後に書き入れて下さい。(雅印のみ可)

□作品の出し方

▼硬筆部Ⅱ原稿用紙以外の場合はB5判以下の紙に書いて下さい。用具は自由です。(黒色に限る)

▼毛筆部Ⅱ半紙に書いて下さい。筆ペンも可です。

▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬・毛のどちらか一方に限ります。

▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績(毛筆の場合は毛筆漢字の成績)を、作品余白にお書き下さい。

▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕

◎草書の秘訣は、まず手がよく動いてくれることです。一本の線を引くにも気持ちよくすーっと引ける腕を必要とします。そしてその線が休むことなく次の線に移れなければなりません。

林 深 鳥 棲 広(廣) 游

〔読み〕林深ければ鳥棲み 水広ければ魚遊ぶ 太宗

▲教範・書範は右課題を「行書」で、師範は「楷書」で出書して下さい。

林深ければ鳥棲み
水広ければ魚遊ぶ

おか だ りゅう ほう 書
岡 田 龍 芳 書

▷用具＝自由(黒色に限る)

▷用紙＝本会段位用紙

〔解説〕

やや右上がりに
十分たて長に
長く

病 後 初 健 康 価 値 矢

価	初	病
値	め	ん
を	て	て
知	健	後
る	康	
	の	

おお たに せい じょう 書
大 谷 清 城 書

▷用具＝自由(黒色に限る)

▷用紙＝本会級位用紙

- ◆9月課題予告(行書)
百万の銃剣よりも
三枚の新聞紙を
もっと恐れる
- ▼教範・書範＝楷書
▼師範＝行草または草書

★林深けれ：(書体＝行草または草書)
太宗(六二七～六四九在位)
中国唐の第二皇帝 李世民
深い林には鳥が集まり、深く広い川
には魚が多く集まります。そのように
人も仁義の徳を積み人格を高めれば、
自然に多くの人がその徳を慕って集まっ
てくるものです。
唐王朝の安定した世を築いた太宗が、
臣下に語った言葉とされています。

◆9月課題予告(楷書)
分かち合えば
困難は
半分になる

★病んで：(書体＝行書)
日本の慣用句
平常の生活において、水や空気の存在を意識することはあまりありません。同様に健康であることや家族の有難みについても忘れてしまっています。
あたり前のことがあたり前に存在することへの感謝。先の大震災において私たち日本人は、身にしみてそれを感じることになりました。

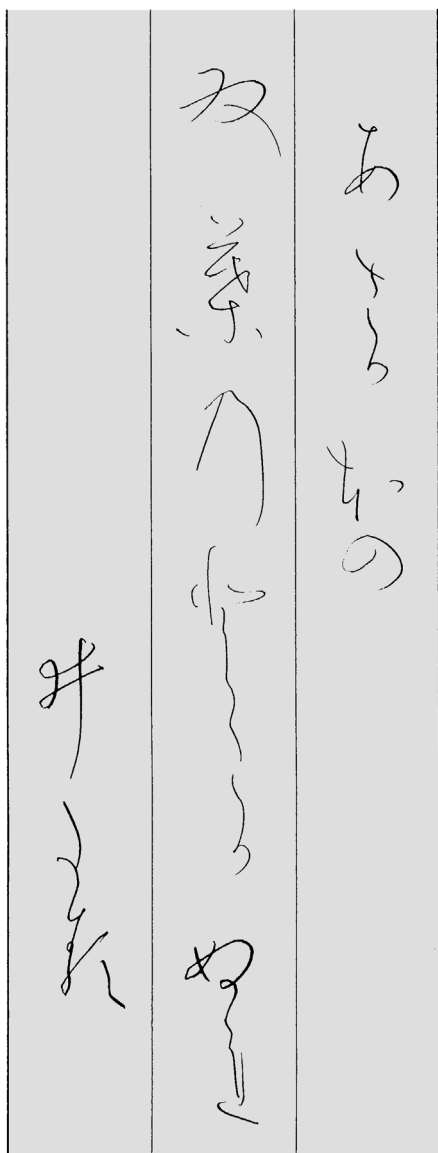
一般部かな課題

締切り 8月25日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

朝顔の双葉のどこか濡れるたる

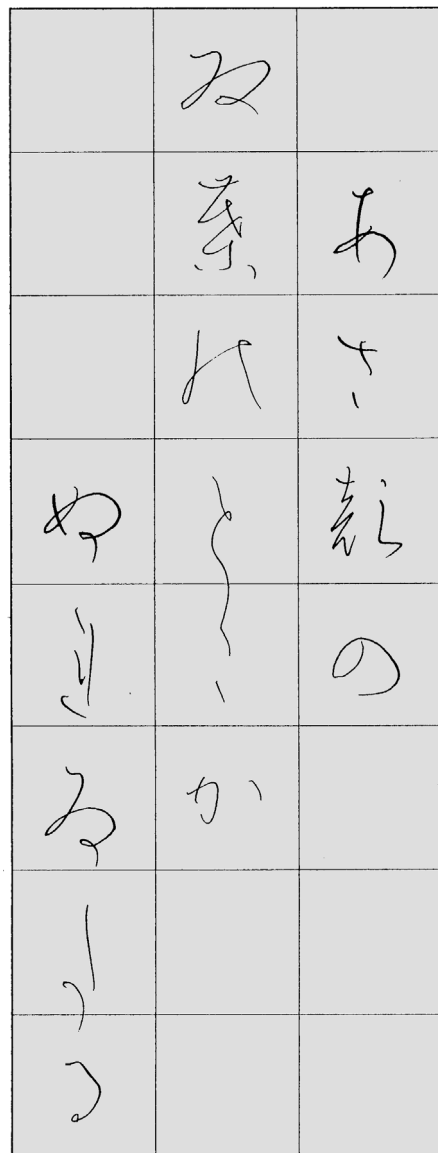


おお みや しゅん ちょう 書
大 宮 春 兆 書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会段位用紙

朝顔の双葉のどこか濡れるたる



おお みや しゅん ちょう 書
大 宮 春 兆 書

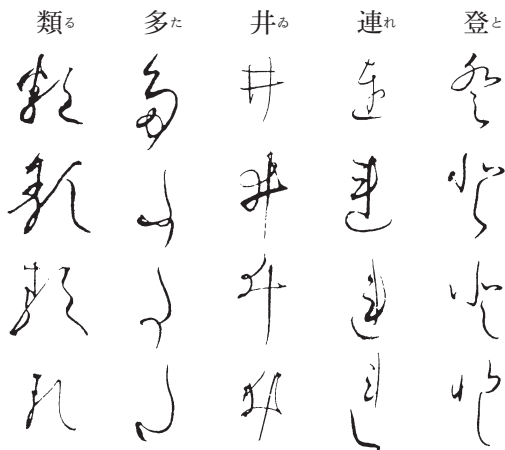
▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

◆9月課題予告

とどまればあたりふゆる蜻蛉かな

(中村汀女)



〔古筆参考〕

朝顔の双葉のどこか濡れるたる
〔句意〕夏の朝早くに庭に降り立って、散策がてらにすがすがしいあたりの草花を見て回っていると、可憐な朝顔の双葉を見つけた。よくよく見ると、今芽を出したばかりの双葉はしっとりとして、どこことなく濡れているようである。

(高野素十)

締切り 8月25日(必着)

夏の自由研究で育てた向日葵が、私の背程に大きくなり大輪の花を咲かせています。子供たちが種をたくさん収穫して、愛菜ちゃんちのハムスター一家のおやつにしようと張り切っています。待ってね。

夏の自由研究で育てた向日葵が、私の背程に大きくなり大輪の花を咲かせています。子供たちが種をたくさん収穫して、愛菜ちゃんちのハムスター一家のおやつにしようと張り切っています。待ってね。

◎手本は水性ボールペン使用

作品の出し方

- 新人から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横 書 き 課 題

おか しま けい せん
岡 嶋 桂 川 書

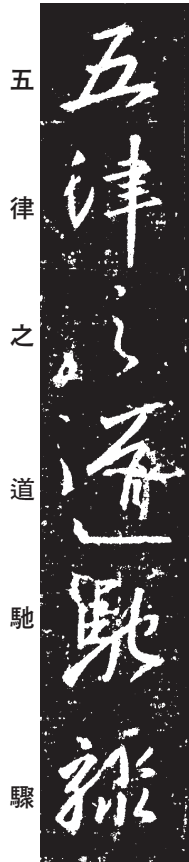
ペン字を学ぶからには、同時に、
国語力・作文力も向上させたい。

北海道赤平市 氏 名

※手本は、つけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 8月25日 (必着)



五律之通馳驟

準初段から師範まで

奥村暢之臨

〔出典〕集字聖教序（672）〔筆者〕王羲之法書より集字

〔読み〕五律の道は、（心田に）馳驟し、

夜涼風露清

新入から1級まで（行書）

澤静雨書

〔読み〕夜涼しく風露清し。

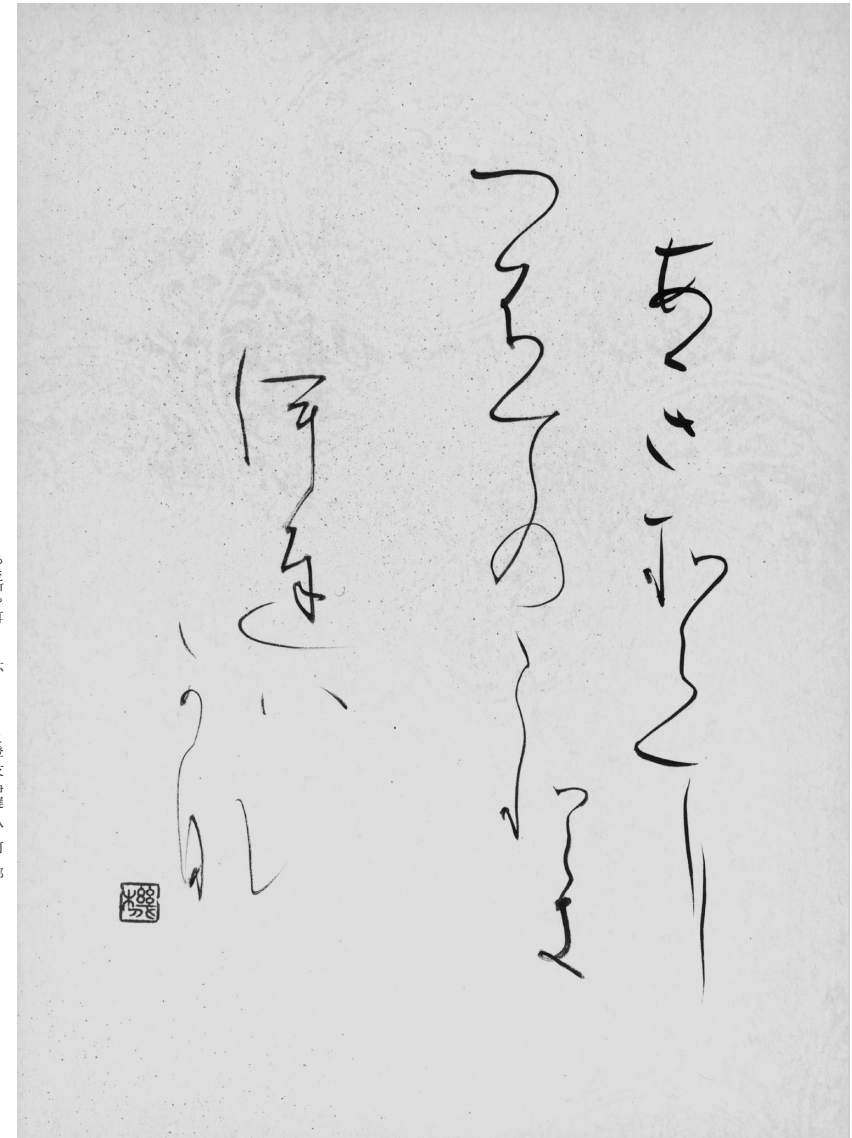
〔大意〕夜は涼しい風が心地よく、夜明けの露が清々しい。

一般部毛筆かな課題

締切り 8月25日（必着）

新入から1級まで

浅井機山先生書

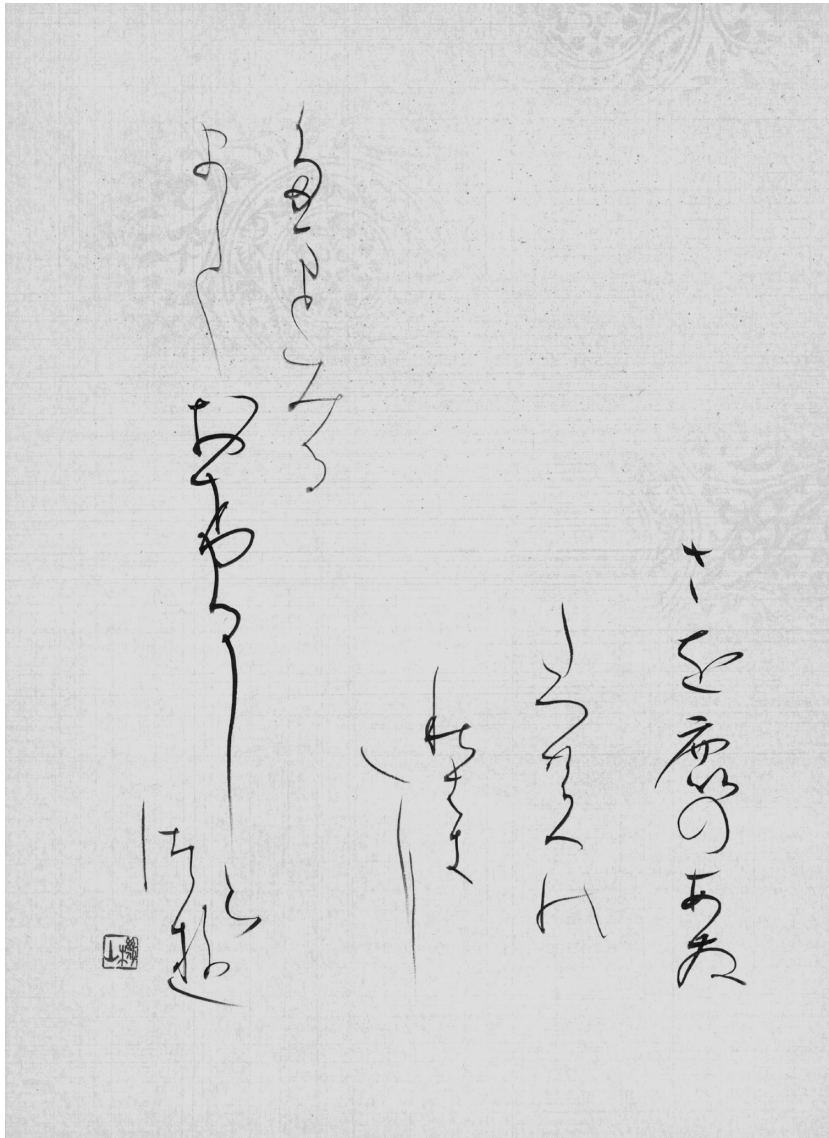


〔出典〕 杉田久女 ひさじょ

〔句意〕 真っ青に澄んだ秋空を、投げた石のようにすばやく飛んで行く一羽の鳥を、直截に詠んで力ある句。

準初段から師範まで

■ 両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。

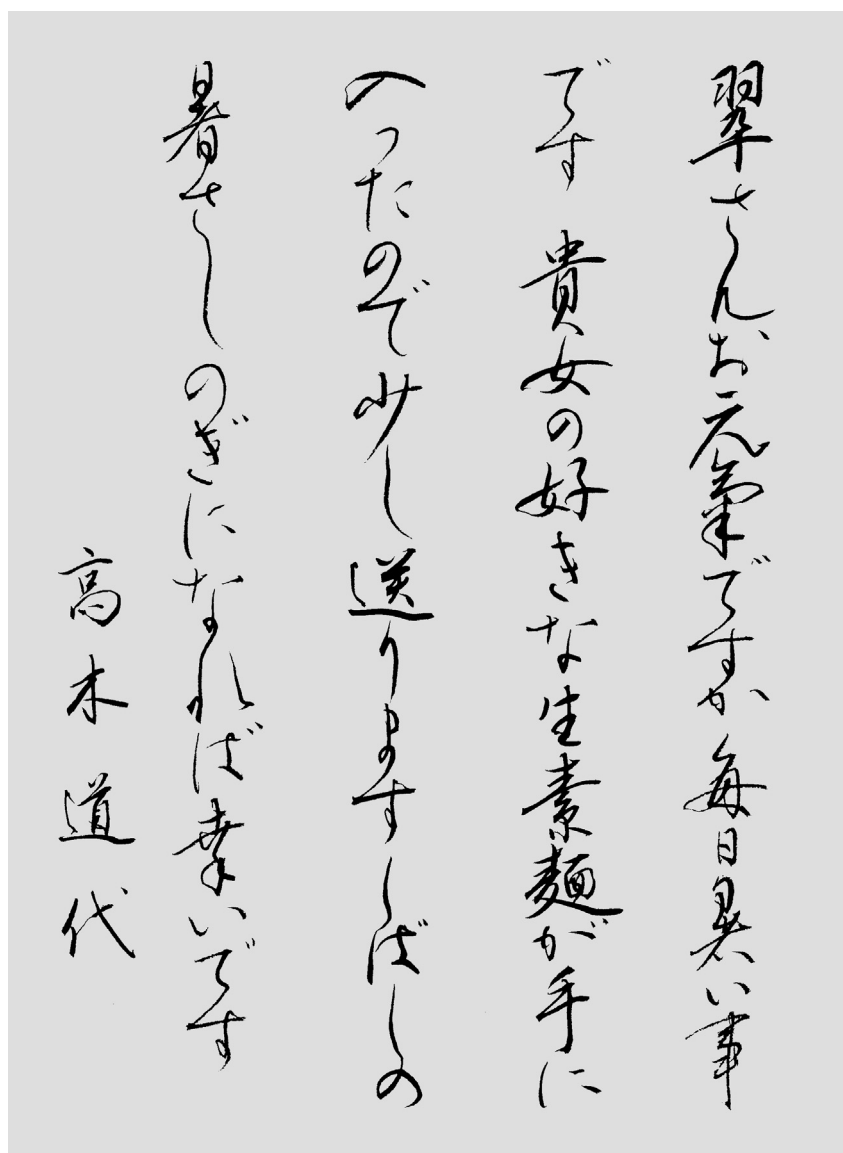


〔出典〕 おおとものやかもち 大伴家持

〔歌意〕 さ男鹿の朝立つ野辺の秋萩に、珠かと思つて見るほどに白露が置いている。

多
万
さる鹿の朝立つ野辺の秋萩に
珠と見るまでおける白露

一般部毛筆細字課題



半紙 (334mm × 240mm)

おお みや しゅん ちょう 書
大 宮 春 兆

- 翠さんお元気ですか、毎日暑い事です。貴女の好きな生麺が手に入ったので少し送ります。しばらくの暑さしのぎになれば幸いです。
- (ご自分の氏名)
- 印で墨つぎしました。
- 〔条幅・細字作品の出し方〕
- 新人から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績(天位〜5等)は、評価により毎月変わります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

〔条幅解説〕字数が少ないのは容易に書ける反面、大変難しいものです。競う場なら尚更です。□□□□のように同形にしないで、○□△▽のように変化が必要です。墨量、太細等の変化は勿論のこと、異質の一字一字を渾然一体にまとめるのが目標です。先日大阪地区講習会で、全く異質の個々の字を一幅に仕上げられた傑作を拝見。百枚以上費やされたとの事。感服致しました。

一般部毛筆条幅課題



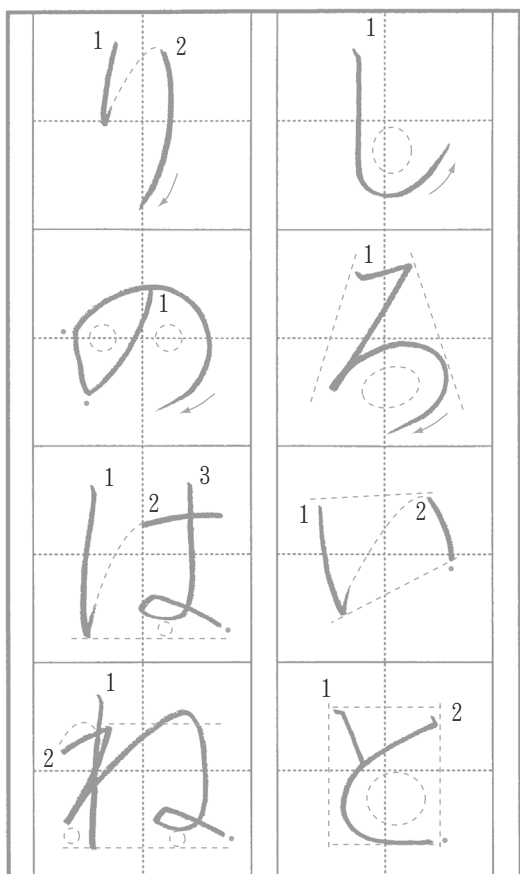
締切り 八月二十五日(必着)

半切 (一三六cm × 三五cm)

荻田蒼仙書

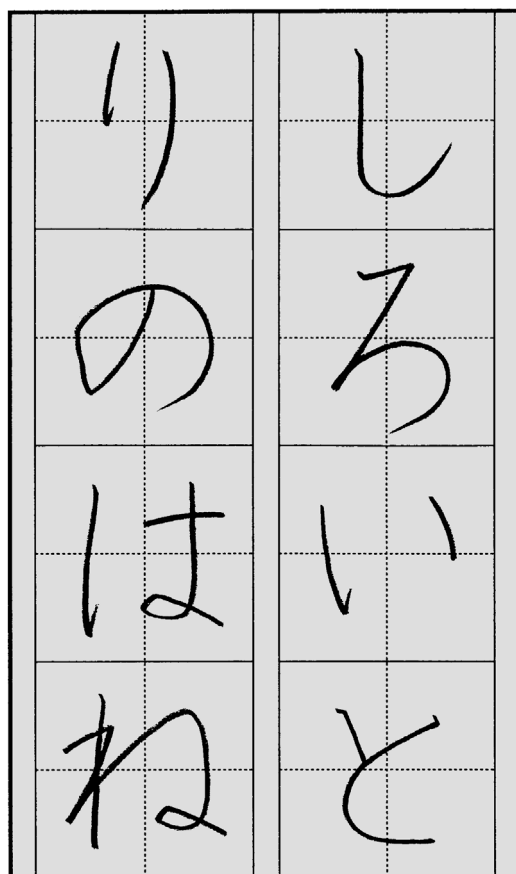
しょうちくすいせいずし
松竹水声涼
〔大意〕青い松に翠の竹、水声はとりわけ涼感あり。
初出品の方へ
支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

〈ようぐ〉自由(黒色にかざる)



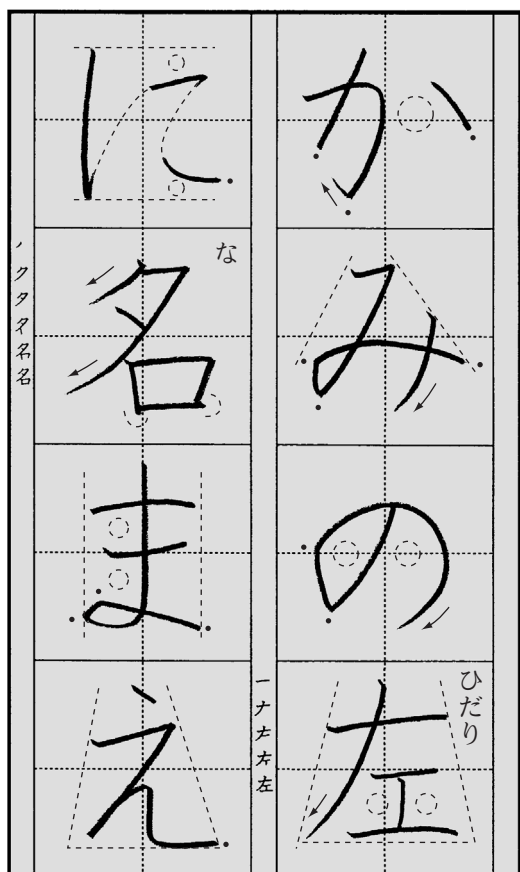
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



よ
う
年

幼年〜小三年 三宅容玉書



新入〜1級

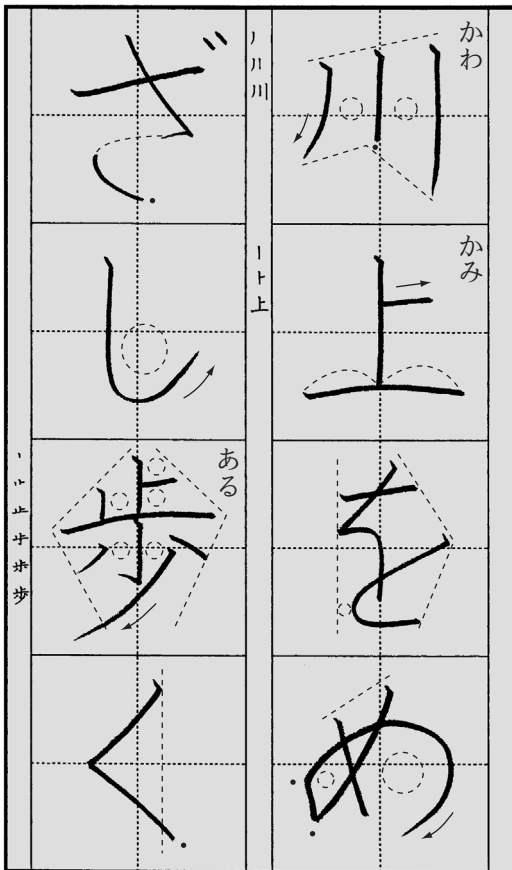
(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



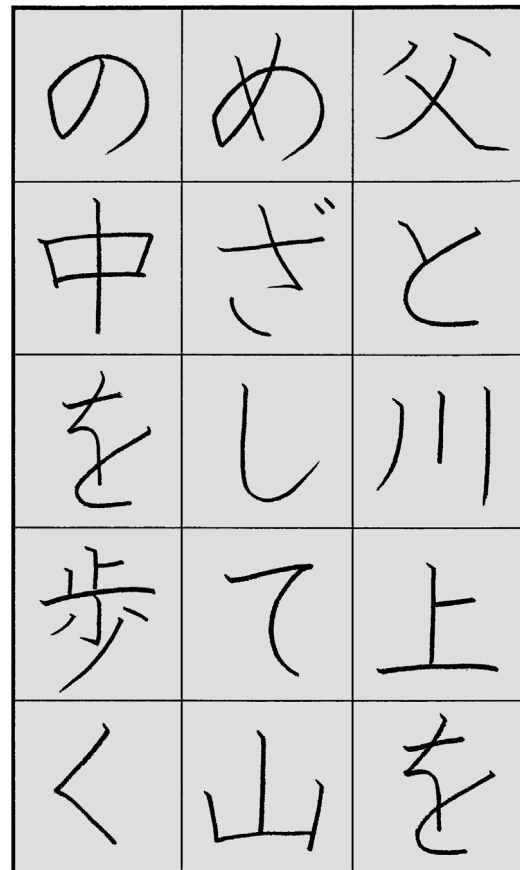
小
一
年

準初段以上

〈ようぐ〉自由(黒色にかざる)

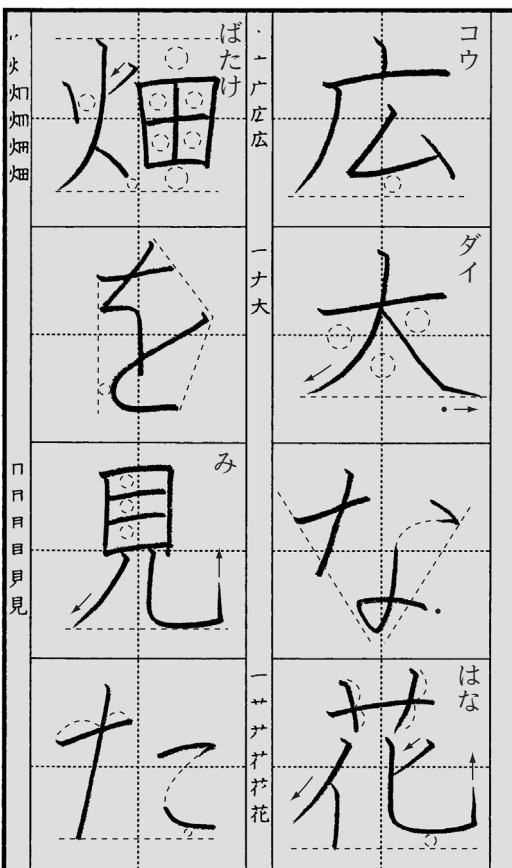


新入1級



小二年

準初段以上



新入1級

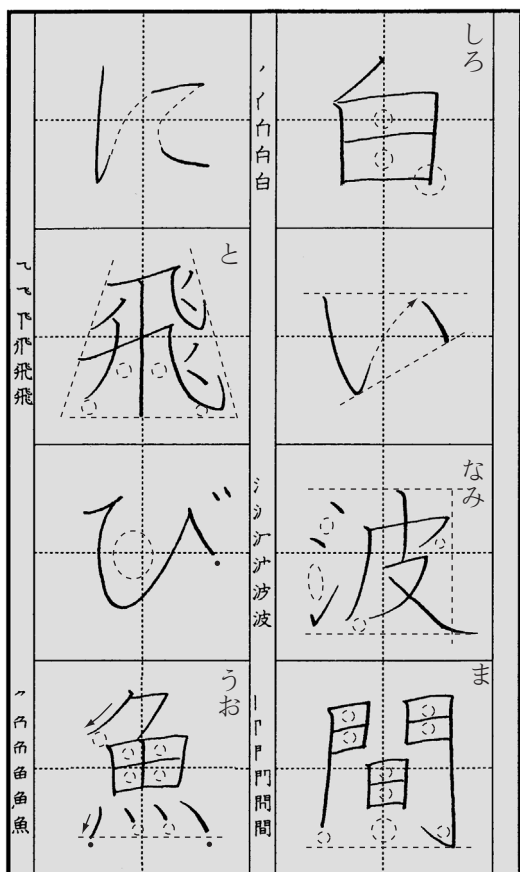
(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



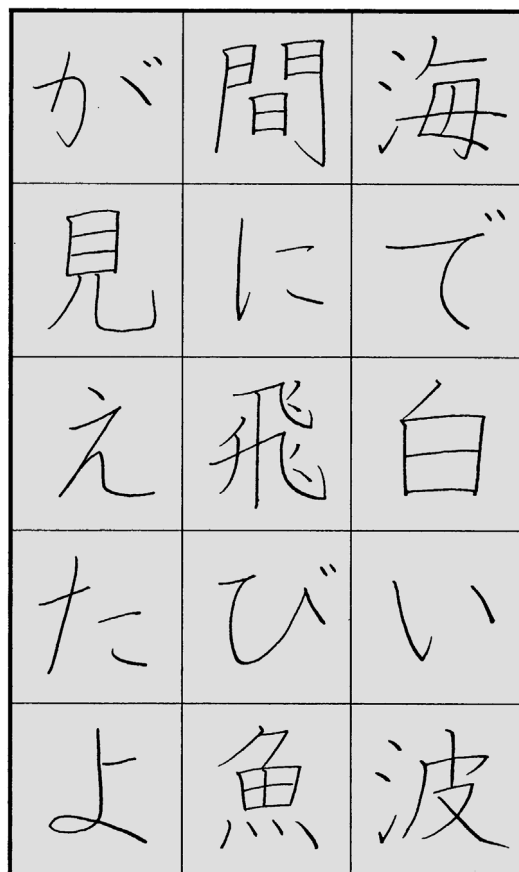
小三年

準初段以上

〈用具〉自由(黒色に限る)



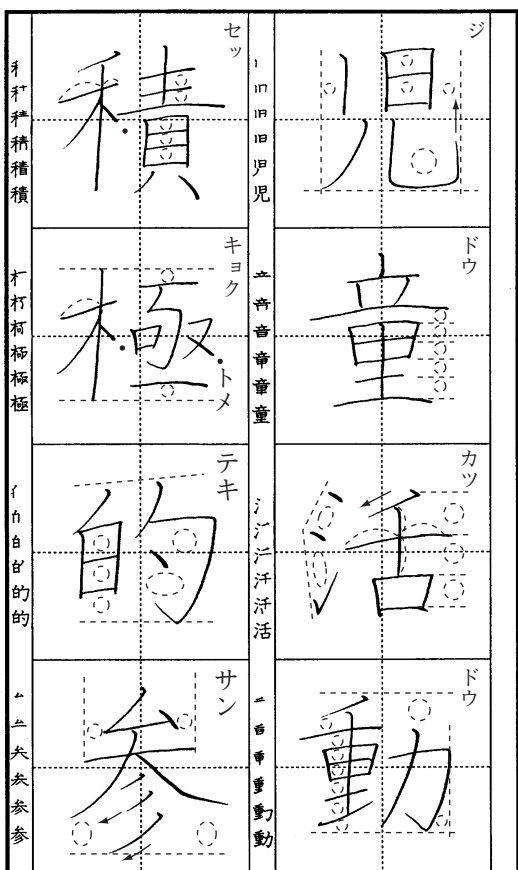
新入1級



小四年

準初段以上

小四以上 須田一葉書



解説(よく見て習いましょう)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。



小五年

(全員)

〈ようぐ〉自由(黒色に限る)

夕	屋
暮	形
染	船
川	見

解説(よく見て習いましょう)

に	見	屋
染	た	形
ま	夕	船
る	暮	か
川	れ	ら

小六年

(全員)

◎お手本は、つけペンで書きました。

星	は	田
が	幾	舎
輝	億	で
く	も	の
よ	の	夜

中二・三年 (行書)

中	か	高
で	な	原
深	空	の
呼	気	清
吸	の	ら

中一年 (行書)

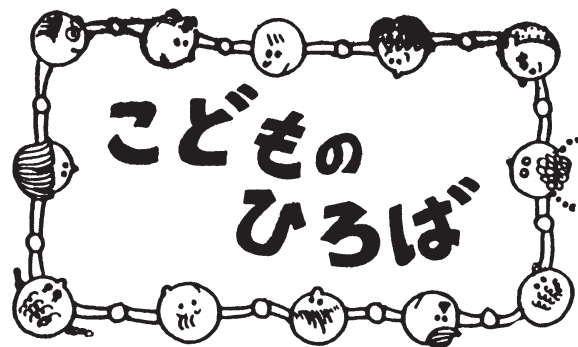
▼小三年以下の課題

ふく しま ゆう こう 書
福 島 有 光

ス	魚 ^{さかな}	友 ^{とも}	ピ	近 ^{ちか}
イ	つ	だ	ク	く
カ	り	ち	ニ	の
わ	や	み	ツ	小 ^お
り		ん	ク	川 ^{がわ}
		な		へ
		で		



◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 8月25日(必着)

習っていない漢字は、
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題

いの うえ さい よう 書
井 上 彩 葉

送 ^{おく}	葉 ^は	手 ^て	暑 ^{しょ}	今 ^こ
り	書 ^{がき}	す	中 ^{ちゅう}	年 ^{とし}
ま	を	き	見 ^み	の
す	自 ^じ	和 ^わ	舞 ^ま	
	作 ^{さく}	紙 ^し	い	
	し	の	状 ^{じょう}	
	て		は	



◎お手本はつけペン使用

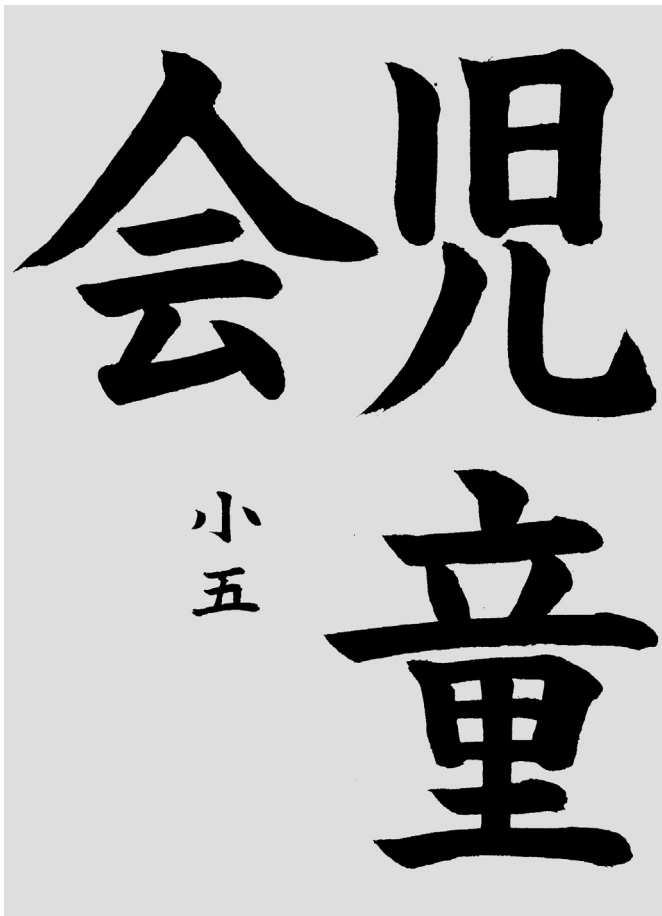
◇作品の出し方

- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。



幼年／小二年
玉樹小
華書





小三、小五年

水野の香竹書

中二
三

の幾億
星

小六・中二・三年

奥村暢之書

船屋
形

小六

空
幾
億

屋
船
清

「至」中心より外に

最後に

◎行書は線の連なり（気脈）に注意しよう。

中一
空
清
気
い